

PTA 活動 令和 6 年度の始まりにあたり

PTA 会長 三井泰夫



みなさん、こんにちは。令和 6 年度の PTA 会長にならせていただきました、3 学年 保護者の三井泰夫と申します。諏訪二葉高校生 712 名の保護者ならびに学校職員 44 名からなる PTA を代表して、総会（書面決議）のこの場にて一言ごあいさつ申し上げます。

○ 高校生活／高校時代は一生のたからもの

子どもたちの生の声から「二葉高校生活は楽しくてたまらない※1」し、自身の経験から「高校時代の友人／思い出は一生のたからもの※2」だと感じています。※1・2とも個人の感想です。

▲ チャット〇〇〇に「保護者・高校生からみた『PTA の印象』は？」と聞いてみたら…
保護者からは「親と先生との連携で子どもの教育を支援する重要な組織とみる一方、わずらわしいと感じる声もあり、支援と負担の両面を持つ複雑なもの」、高校生は「保護者の集まりで関心を持たない」とか「地味な活動で距離を感じる」と、AI が代弁しています。

♪ 「踊る××に見る××、同じ××なら踊らにゃ損尊!？」♪

AI も言うとおりの、PTA 活動のありかたや存在意義は、人それぞれでしょう。また生徒たちから、ほぼ関心も持たれないのが PTA 活動だとしたら…。役員数も活躍の場も減る一方の PTA だからこそ、その場面や集まりに親として関わるのなら、せめて愉しみたい。子どもたちはあっという間に高校を卒業し、成人となり、やがて社会人になってしまう。親として学校行事に参加できる最後の機会＝それが高校 PTA 活動なのだとしたら…。「二葉高校で親どうし、先生方も一緒に愉しんでいる姿を、生徒たちに一瞬でも垣間見せたい」それが令和 6 年度 PTA 活動の会長が掲げる願いであり、モチベーションです。 以上

それでは、PTA のみなさん、1 年間なにとぞよろしく申し上げます。